

みなみ野中学校区地域づくり推進会議

令和4年度 第6回の主な意見と中間とりまとめ修正・対応一覧

| 主要意見 | 修正内容・対応 |
|--|---|
| ◎主に「魅力」に関する意見 | |
| 1 ○「農的環境」ではなく、「里山環境」という言葉が適切。 | ・「農的環境」から「里山環境」に修正。 |
| 2 ○みなみ野を中心に、隣接する七国などの地域については話すべき。 ○中学校区ごとに推進計画を作るのが基本になるが、今後他の校区とどう協働していくか。 ○東京工科大の校舎はみなみ野中学校区外にあるが、みなみ野の資源として良いか。 ○企業の研究所があることについて、連携可能・つながりという視点では魅力となるのではないか。 | ・みなみ野中学校区に焦点を当てつつ、将来な他校区との協働を視野に、周辺の資源（大学や企業など）の活用や連携についても検討。 |
| 3 ○「地域活動が盛ん」に違和感がある。むしろ少ない。 | ・削除。 |
| 4 ○災害リスクが少ないことが地域の魅力として大きい。一番初めに掲載してはどうか。 | ・災害リスクの記述を「魅力」の一番目に記載。 ※他の項目についても、記述内容に応じて入れ替えをしました。 |
| ◎主に「課題」に関する意見 | |
| 5 ○「（ア）高齢化や人口減少に備える」は、地域で取り組む課題としてふさわしくないのではないか。 | ・今後、地域づくりに取り組む上で、念頭に置くべき背景として記述を修正。 |
| 6 ○戸建てが多く、自分の生活を大事にしたい人が多いため、地域活動を作ることが課題。 ○緊急時には地域力が不可欠であり、そのためにはコミュニティづくりが必要。 | ・「（ア）コミュニティの醸成」（修正前（イ））の記述を修正。 ⇒「自分の生活を大事にしたい」という趣旨を、「住民それぞれの年代や立場、まちづくりへの考え方を尊重しつつ」と表現。 ⇒地域活動の活性化を視野に、「仕組」だけでなく、「機会や場」を追加。 |
| 7 ○みなみ野へ新しく入ってくる人もいるが、出ていく人も多い。 ○成長に伴い、みなみ野を出て行った若者が、戻ってきたくなくなるまちにすることが重要。 | ・「（イ）地域を引き継ぐまちづくりの担い手の確保」（修正前（ウ））の記述に、「みなみ野へ転入する人がいる一方、転出する若者が多いため、将来、戻って来たくなくなるまちにすることが必要」を追加。 |
| 8 ○駅前に人が集まる施設があるとつながりが広がるのではないか。 ○点在しているコミュニティの場所を駅前に集めることで、知らない人も入ってこられる。 | ・つながりづくりに向けて、「駅前のお祭り」を、「取組の候補」の「私の居場所づくり」に例示。 ※アクションプランの検討の中で、「駅前のお祭り」を含め、イベント開催について検討を深めることも可能です。 ※関連：No.10 参照 |
| 9 ○循環バスの範囲を広げ、コミュニティの場に行きやすくなるとよい | ・コミュニティ醸成の場となる「居場所」が身近にあり、気軽に行けることが重要であることから、「取組の候補」の「私の居場所づくり」に「居場所のネットワーク化」を記載。 ※アクションプランの検討の中で、「循環バス」の活用含め、地域で取り組むことができる活動を検討することも可能です。 |

| 主要意見 | 修正内容・対応 |
|--|--|
| ◎主に「アクションプランの柱」や「取組の候補」に関する意見 | |
| 10 ○中心商店街があると人の輪が作れる。 ○居場所とは場所ではなく人とのつながりが重要。自分を中心に周りつつながっていける場があると良い。 ○多世代が集まれるマルシェができるような場所はどうか。 ○居場所には、日常的なものとイベント的のものがある。 ○ゆるいつながりでいたいと思う人も多い。しっかり繋がりたい人はイベントで交流できると良い。 | ・「取組の候補」の「私の居場所づくり」2つ目の「・」で、日常的な居場所を例示しつつ、イベント的な居場所として「駅前のお祭り」などを例示し、「“選べる”憩い」と追記。 |
| 11 ○情報発信には、口コミが最も有効。 | ・「アクションプランの柱」の「③地域の魅力を広く発信・共有する」に、「「口コミ」の力を活かせる、情報発信に取り組めます」を追記。 |
| 12 ○学校の活動とつなげる | ・「アクションプランの柱」の「④若者の力で次代をつなぐ」に、大学生だけでなく、「子ども」を追記。 ・これに対応して、「取組の候補」「集え、若者」に地域活動の連携先として、「小中学校の活動との連携」を例示として追記。 |
| 13 ○集い場を持続させるためには、場所の確保にお金をかけないことが必要。 ○集い場を提供するメリットを作ることが必要。 | ・「取組の候補」の「私の居場所づくり」3つ目の「・」に「借りやすい、貸しやすい環境づくり」を追記。 |
| 14 ○いろいろなテーマに応じたモデルコース・マップづくりで、マップ上に居場所として使える場所を掲載すると面白いのではないか。 | ・「取組の候補」の「みなみ野のみどころツーリズム」について、居場所を含めて地域資源の情報を更新・充実していく趣旨を込めて、5つ目の「・」に「コース・マップを充実する」を追記。 |
| 15 ○ネット上のプラットフォームをつくり、口コミとセットで活用できると良い。 ○まずはプロトタイプをつくりたい | ・「取組の候補」の「発信拠点 みなみ野」1つ目の「・」で、情報発信・共有の具体的な方向性として「ネット上のプラットフォーム（土台）づくり」を追記。 |
| 16 ○プラットフォームには、人材バンクと絡めても良い。 ○市民活動協議会の人材バンクと連携できると良い。 | ・「取組の候補」の「発信拠点 みなみ野」2つ目の「・」で、プラットフォームの機能として、「地域の人材発掘やマッチング」を例示として追記。 |
| ◎主に「将来ビジョン」に関する意見 | |
| 17 ○古くからの地権者と新しい住民がまちを作ってきた。 ○「人や自然が循環する」という表現は、一度みなみ野から巣立っていった人が、再びみなみ野に帰ってくるという循環をイメージしている。 ○「循環する」という表現が伝わるのか疑問である。 ○子どもたちにも伝わる表現が良い。 ○「まじわる」「いきいき」「かがやく」「のびのび」「豊かに愉しむ」などという言葉を入れるのはどうか。 | ・「循環」を「豊かに愉しむ」に修正。 ※ワークショップでの意見や、アクションプランの検討を深め、最終的に計画書として取りまとめる際に、改めて確認することも可能です。 |